

令和2年度 学校評価総括表 伊丹市立天王寺川中学校

教育目標		夢と誇りのある生徒の育成 ～自分の意志・判断で自ら責任をもち行動する態度を育てる～						
重点目標		① 自ら学び考える主体的な力を育む。② わかった、できたと実感できる授業を展開し、基礎・基本の定着及び活用する力の向上を図る。③ 問題行動や不登校生徒の減少に向けた未然防止・早期対応の充実を図る。④ ホームページ、メール配信等を有効に活用し、天中の教育を積極的に発信する。⑤ 感染症対策に努め、子どもたちの学びを止めない。						
項目	重点項目	具体的施策	達成目標	自己評価	成果と課題	改善策	学校関係者評価	
学力の向上	基礎・基本の徹底と、授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識・技能を習得する。 ・授業力の向上と授業の改善をめざした校内研修会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼学習、放課後学習、土曜スクールを行い、基礎基本の定着を図る。 ・公開授業を行い、授業評価等をもとにわかりやすい授業を目指す。 ・ICT機器を活用したわかりやすい授業に取り組む。 ・週末課題を習慣化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜スクールの参加人数を平均50人以上にする。 ・終礼学習確認テストの不合格者を各学年で30人以下にする。 ・授業はわかりやすいと感じる生徒の割合を75%以上にする。 ・授業は楽しいと感じる生徒の割合を75%以上にする。 ・ICT機器の使用回数を月に100回以上にする。 ・家庭学習をする習慣がある生徒の割合を75%以上を目指す。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜スクールの実施予定を行事予定表、HP、一斉メール等で周知した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加人数の平均が28人だった。 ・臨時休業中の授業時数の不足を補うため、7校時まで授業を実施した。そのため、終礼学習を実施することができなかった。 ・ICT機器を積極的に活用し、教員がわかりやすい授業を意識したことにより、先生は、教え方にいろいろと工夫をしていると感じている生徒が、91.1%(昨年度87.7%)に向上した。また、生徒の「授業はわかりやすくて楽しい」や保護者の「わかりやすい授業に努めている」の割合は、83.9%目標値と達成することができた。 ・ICTに関しては積極的に職員が活用した結果、月に964.5回となり、目標値を大きく上回った。 ・学年だよりなどで、計画的に宿題を示した結果、保護者のアンケートでは89.0%に増えた。しかし、生徒は69.6%にとどまり、より一層、家庭学習の定着を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底し、土曜スクールを実施するとともに、可能な限り参加の呼びかけを行う。 ・来年度も、感染症対策を徹底し、可能な範囲で終礼学習を実施する。 ・より一層ICT機器(1人1台タブレット)を効果的に活用するなど、指導の工夫を行い、生徒にとって「わかりやすく楽しい」授業づくりに励み、来年度も75%以上を目指す。 ・来年度も、これまで以上にICT機器の積極的に活用し、月に500回以上を目指す。 ・生徒が主体的に家庭学習に取り組むための工夫を図るとともに、継続した指導を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響もあり土曜スクールの運営がたいへんであったと思います。それでも、テスト前にはたくさんの参加があったことに学校と生徒の信頼関係を感じます。 ●終礼学習は基礎的な学力の定着に大いに必要なことです。主体的な学びを行う基礎学力の定着に努めてください。 ●新型コロナウイルス感染症対策だけでなくGIGA構想の前倒しとして1人1台のタブレットの活用は、これまでの学びを大きく変革するものです。子どもたちの主体的で深い学びを実現するため教員の授業力の向上は不可欠です。授業がわかりやすいと学力が定着していることの割合が同等になるように先生方の授業改善をお願いします。また、校長先生が年度当初出された学力の秘訣の先生方の意識化をさらに進めてください。 ●家庭学習は学力を定着させる上で大きな力を発揮します。PTA等と連携のもと、家庭学習の方法や内容について工夫していくことをお願いします。
	学習規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム席を徹底する。 ・学習環境の整備を進める。 ・よく聴く姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習委員、班長、学習係を中心にチャイム席の徹底を図る。 ・清掃の徹底を美化委員会を中心に呼びかける。 ・整理整頓、ゴミを拾うなど環境整備を教師が呼びかける。 ・話を目と耳と心で聴けるように呼びかける。 ・教師は生徒が前を向いて聞く姿勢になるまで待つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム席を守れている生徒の割合が90%以上であることを維持し、準備物もそろえて静かに待てるようにする。(A評価は50%以上にする。) ・「学校や教室が学習や生活の場として整っている」の割合を85%以上にする。 ・「人の話を聴く姿勢が出来ている」割合を90%以上にする。(A評価は40%以上にする。) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長会が主体となり、タイマーでチャイム席を意識することや声かけをすることで、チャイム席を守れている生徒の割合が95.2%(A評価74.5%)と目標値を達成することができた。 ・1年生が移動教室後や更衣後にチャイム席を守れないことがあった。 ・学習環境が整っていると答えた割合は88.5%と目標値は達成しているが、A評価が35%であることから、取り組みの見直しが必要である。 ・人の話を聴く姿勢が出来ていると答えた割合が、2年、3年ともに昨年度と比べて3%ずつ増加し、全体で90.5%(A評価44.5%)と目標値を達成することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動等を活用し、生徒一人ひとりが自主的に時間を意識できるように取り組む。 ・集中清掃や美化委員会の呼びかけによって掃除の意識を高め、教室を整備する。 ・授業中、今は何をやる時間であるかを目に見える形で提示し、聴く時間、書く時間などを生徒に意識させる。また、話を聴く時は目を見て聴く、姿勢を正すなどを習慣化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●チャイムを守ることや清掃活動等は学校生活の基本でありあたりまえにできることとなります。ここ数年の天王寺川中学校の子どもたちの様子を見てみるとほとんどの子どもたちが達成されているのではないのでしょうか。学習規律の確立よりは学習習慣の獲得という項目で評価を進めていくことを考えてはいかががでしょうか。

	読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を徹底させることで、学習に落ち着いて取り組むとともに、語彙力の獲得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の活性化を目指すために、国語科をはじめとする各教科と学校司書、図書委員の連携を図る。 ・読書に関するさまざまなイベントを通して、読書に前向きに取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1.5冊以上読書する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において可能な限り、図書に対する啓発活動を行ったが、月平均が1.42冊と目標値を下回った。 ・7校時までの授業を実施したことにより、朝読書が行えなかった。 ・図書室の利用や読書の取組について、個人差が大きかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度、通常の教育課程に戻し、朝読書を実施する。昼休みの時間を確保し、密を避けて、積極的に昼休みの図書室開放を行う。 ・授業で利用する頻度を増やす。感染症対策として、授業での図書室の利用は分散して行う。 ・学校図書司書と連携し、図書館祭り等を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響もあり図書室の開放等が計画通り実施できなかったり、朝読書の定着も難しかったと思います。読書活動の充実は思考力や表現力やプレゼンテーション能力の向上に大きな役割を果たします。子どもたちが積極的に図書室を活用できるような手立てを検討してください。 ●スマホやアニメの影響で読書が国民的に低下しているように感じます。青年期の読書は人格形成にとっても大切です。
豊かな心・健やかな体	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導に取り組む。 ・問題行動の予防に努める。 ・いじめ問題への対応力の向上に取り組む。 ・不登校の予防に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で、共通理解事項を全職員に周知徹底する。 ・地域のパトロール回数を増やす。 ・年に2回、教育相談週間を設け実態把握を行う。 ・感動のある行事を行う。 ・Q-Uアンケートの結果を活用し、学級運営に活かす。 ・連絡なしに登校していない生徒はすぐに連絡し、様子を確認する。 ・職員間で連携を取り、不登校に複数で対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「先生は良いことは良い、悪いことは悪いときちゃんと指導している」という生徒の割合を90%以上にする。 ・地域のパトロールを月1回行う。 ・「学校へ行くのが楽しい」「学校行事は楽しい」という生徒の割合を昨年度以上にする。 ・「先生は生徒の悩みごとや不安に親身になって相談にのってくれる」という生徒の割合を90%以上にする。 ・不登校生の割合を昨年度以下にする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「先生は良いことは良い、悪いことは悪いときちゃんと指導している」は91.9%で目標値を達成した。また、共通理解事項を全職員に周知することができた。 ・パトロールを月平均2回を行うことで、注意喚起や非行の未然防止に努めた。 ・コロナ禍において様々な行事が中止、縮小となり、アンケートを複数回実施し、生徒の様子を聞き取る機会を増やした。そのため、可能な限りの行事等を行った。 ・「先生は生徒の悩みごとや不安に親身になって相談にのってくれる」は、85.6%で目標値に達成できなかった。 ・相談体制について、複数で対応するなど、学年で情報を共有し、さらには学年を越えて、対応するよう心がけた。 ・コロナ不安等もあり、不登校生の割合が4.63%(12月現在)と増加し、昨年度(16.9%)よりも、増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解事項をさらに徹底できるように取り組んでいく。 ・継続して月1回以上のパトロールを行う。 ・学年単位や学校単位で可能な限りの行事を行った。また、充実感や達成感を感じられる授業や普段の生活の声かけ等により、生徒の自己肯定感を高めていく。 ・不登校未然防止のために子どもの様子をきめ細かくチェックしていく。また、教師と保護者との連携を高めて、信頼関係を深めていく。 ・SC、SSW、関係機関等の連携を図り、不登校生の減少に努める。 ・教師間の情報交換、情報共有を密に行う。 ・すべての教育活動を通じて、生徒の自尊感情、自己有用感の醸成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちの生活の様子から大きな問題行動等が減少してきているように感じられます。しかし、学校生活では見逃してしまうかもしれない状況が起こる可能性も少なくありません。地域性を考慮しながらも関連幼稚園小学校と情報交換を密にしながら組織的な生徒指導に取り組んでください。 ●不登校は天王寺川中学校において喫緊の課題であると考えます。未然防止のため長欠の生徒だけでなく学校に来にくくなっている子どもたちへの支援を様々な視点で対応することと関係機関との連携を十分図ってください。 ●不登校の問題は本当に難しいことだと思います。子どもたちのそれぞれに悩みや苦しみがあるので、先生はいろいろな角度からの支援と忍耐が強いられると思います。先生方の心のケアも大事だと思います。
	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の教育」を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳を中心に教育活動全般で相手を思いやる心を育む。 ・「朝のあいさつ運動」を実施してあいさつの定着を図る。 ・A-1グランプリを定期的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分を大切にすることや、他の人への思いやりについて教えてもらっている」の割合を80%以上にする。 ・「あいさつをきちんとできている」生徒の割合を80%以上にする(A評価で50%以上にする)。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分を大切にすることや、他の人への思いやりについて教えてもらっている」の評価が90.8%と目標値を達成することができた。 ・「あいさつをきちんとできている」の割合が、生徒86.1%、保護者88.7%と目標値を達成することができたが、A評価は47.3%であり、目標値の50%を達成することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が人に大切にされていると実感できる題材や、ストレスマネジメントについての教材などを用いた教育を、道徳・学活・総合などを中心に実施する。 ・生徒会活動や部活動等を通して、自ら進んであいさつする習慣の大切さを伝えていく。 ・教師から積極的にあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「道徳の教科化」が導入されました。生徒の自尊感情を育むうえで道徳の授業は重要な役割も持ちます。学校の教育活動全般において自尊感情を醸成させるために道徳の授業の深化をお願いします。 ●自分から進んで挨拶をすることは人間としてあたりまえのことであるので学校だけでなく家庭や地域も連携して取り組んでいく必要があると思います。

健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣の獲得を図る。 ・部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはんを生徒・家庭に呼びかける。 ・終礼でほげんだよりの内容について触れ、健康管理を促す。 ・教師の専門性を活かしたり、外部コーチによる指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣を送っているという生徒の割合を80%以上にする。 ・「部活動が充実している」と感じる生徒の割合を90%以上にする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「規則正しい生活習慣を送っている」は教師85.4%、保護者89.4%とともに目標値を達成することができたが、生徒は73.7%と目標値を達成することができなかった。 ・「部活動が充実している」が90.2%と目標値を達成することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会や終礼等で早寝・早起き・朝ごはんについて、家庭への協力を依頼する。また、生徒にやりとり帳の就寝・起床時間、朝食欄への書き込みを促し、自身の生活リズムについて意識を高めさせる。アンケート項目を、「早寝早起き」「朝食」に分け、より具体的なアプローチ方法を分析する。 ・充実させる内容(目標)を各部活動で持たせ、活動していく。 ・部活動で学んだことが、実生活で役に立つことを実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響のため規則正しい生活が家庭で行いにくい状況になった生徒もいると思います。本来、家庭ですべきことまで学校が担わなければならない現状を憂います。 ●コロナ禍での部活動であったが高評価を得ることができました。今後も充実した取り組みを期待します。
開かれ信頼される学校園	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に学校情報を発信する。 ・学校評価の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの積極的な更新をする。 ・学校便り・学年通信を合計月4回以上発行し、ホームページ上でも閲覧できるようにする。 ・学校評価アンケートをホームページで公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページを月10回以上更新する。 ・学校便り・学年通信を合計月4回以上更新し、ホームページ上で公開する。 ・学校評価結果を学校運営に反映しやすくするため、年1回2学期末にアンケートを実施する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページを月平均17.3回更新することができ、目標値を達成することができた。 ・学校便り、学年通信を定期的に更新することが出来、保護者の肯定的な意見が昨年度より、6.6%上昇し、95.7%になった。 ・学校評価をホームページで公開できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上に、学校での様々な情報を積極的に発信する。 ・学校便り、学年便り、進路便り等を積極的に発信していく。 ・学校評価の結果を学校運営に反映しやすくするため、質問項目の見直しを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページの更新や学校だより等を通してコロナ禍で不安を持っている生徒や保護者に対して学校からの最新情報の発信は大いに役立ったと考えられる。引き続き取り組みの充実も考えていただければありがたい。 ●学校評価の重点項目や具体的な施策が実態に合わないところもあるように思える。一度検討してみてもいいでしょうか。
教職員の意識改革と資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・わかる授業を追求する。 ・地域・保護者との連携を図る。 ・校内外で研修に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業等を通してわかりやすい授業を追求する。 ・PTAの主催行事・地域の行事等に積極的に参加する。 ・校内外の研修で資質や指導力の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に1回以上の公開授業を行う。(期間中に必ず1回は参観) ・校内外の研修に平均10回以上参加する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びに向かい、学びを生かす生徒の育成」をテーマに、年に2回の研究授業を実施できた。また、年に1人1回以上の公開授業を行い、授業改善に努めることもできた。今後も研究授業・公開授業などを継続し、わかる授業づくりに努めていく必要がある。 ・トライやる・デーで、地域及び保護者と連携し、活動することができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域行事等の中止が多くあった。 ・校内研究会で、研究推進委員会、道徳教育推進委員会が中心となり、講師を招いて計画的に充実した研修会を行った。校内外の研修会に平均8.9回(12月現在)参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業や授業研究会で学んだことを今後の授業に生かしていく ・学力向上プラン及びシラバス(学習計画)に基づいて、教科ごとに課題の改善に努めていく。 ・継続して地域と連携していく ・研修会に参加して参考となった内容等を教職員で情報共有し、授業力・指導力の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●天王寺川中学校の生徒の基礎学力の定着状況や学び方の実態を科学的に分析していく必要があると思います。高校入試の出題傾向をみていると基礎的な知識だけでなく思考力や表現力などを含めた学びが要求されています。主体的で深い学びを追求するために、どのような視点にたつて授業を組み立てていくかを授業研究・公開授業等を通し先生方一人一人が日々研鑽に努めてください。

学校関係者評価総括
 新型コロナウイルス感染症対策のため突然の休校やそれに伴う授業時間の確保、感染症対策等これまで経験したことのない状況や課題に先生方が生徒一人一人にきめ細やかに対応していただいたことに感謝いたします。天王寺川中学校の自己評価値についてはおおむね評価します。学校側の熱い思いと膨大な仕事量に驚くとともに感謝の思いを強くしています。屈指のマンモス校の運営はたいへんだと思いますが、お手伝いできることがあれば何でもさせていただきます。学校・地域・家庭でともに子どもたちを健全に育ていければと思います。来年度に向けて天王寺川中学校の子どもたちの実態をふまえて評価項目等を検討していただき、子どもたちが行きたい中学校、先生からはやりがいのある中学校、保護者からは通わせたい中学校、そして、地域からは誇れる中学校となるよう、コロナに負けない学校運営に期待いたします。

次年度に向けた重点的な改善点
 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、感染症対策を徹底した教育活動を見直す必要がある。
 ・子どもたちがこれからの未来を逞しく生き抜くための「確かな学力」の定着を図る。そのために、各教職員の授業力・指導力を向上させることはもちろんのこと、「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業改善を図るとともに、「令和の日本型学校教育」の目指す「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進する。また、家庭・地域との連携を進め、家庭学習の定着及び土曜スクールや放課後学習の充実にも努める。
 ・不登校の未然防止に努める。そのために、すべての教育活動を通して「魅力ある学校づくり」を推進し、学校が子どもたちにとっての「心の居場所」となるよう努める。
 ・「学力向上」「不登校の未然防止」について学校運営協議会で熟議を重ね、最善の策を講じていく。